



認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク 第23回シンポジウム

これからの児童虐待防止対策を考える ～現場からの検証～ Part 2

厚生労働省における「児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会」の審議も大詰めを迎えています。委員会では、現在の児童虐待対応の困難さを反映し、論点多岐にわたり、総合的な虐待防止対策が模索されています。今回のシンポジウムは、同委員会のこれまでの議論を振り返り、どのような方向性が目指されているか整理します。また、4月に開催したシンポジウムにつづき、妊娠期からの虐待防止、児童相談所や市町村の対応のあり方に加え、社会的養護における被虐待児の支援、自立の問題を取り上げ、望ましい制度のあり方を検討します。国は、児童虐待防止に向けた抜本的見直しをするとの意向も示しており、今後に与える影響は大きなものがあると思われます。児童虐待防止に関わる専門職、市民の意向を制度改革に反映させるためにも、一人でも多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

日時 平成27年 10月 3日(土) 12:45～16:40 (開場 12:20)
会場 TKP 渋谷カンファレンスセンター 2F ホール2A

◆ 基調講演 「子ども虐待対応の課題とこれからの方向性を考える」

子どもの虐待対応件数が増加し、重篤な事例も引き続き発生する一方で、子どもと家族を支援するための取り組みも様々な広がりを見せている。しかし児童相談所や市区町村などの体制はまだ十分とは言えない状況にある。現在、国の専門委員会が今後の虐待防止対策を検討しているが、そこで何が課題とされているのか、そして私たちはどのような方向性を描けばよいのかを考えてみたい。

川松 亮氏 子どもの虹情報研修センター研究部長

東京都の福祉職として、知的障がい児施設、児童養護施設、児童自立支援施設で勤務したのち、児童相談所で児童福祉司として相談活動に従事。2012年4月から2015年3月まで、厚生労働省児童福祉専門官。2015年4月から現職。

◆ シンポジウム 「これからの児童虐待防止対策を考える～現場からの検証～ Part 2」

シンポジスト (五十音順)

安部 計彦氏
西南学院大学人間科学部 教授

鮫島 浩二氏
医療法人きずな会 さめじまボンディングクリニック 理事長
一般社団法人 あんしん母と子の産婦人科連絡協議会 理事長

高橋 亜美氏
アフターケア相談所ゆずりは 所長

コーディネーター **吉田 恒雄** 当団体理事長

◆ 参加費無料 ◆ 事前申込不要 ◆ 定員 150 名

<問い合わせ先>

認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク
〒156-0043 東京都世田谷区松原 1-45-10 KTスクエア 4B
E-mail info@orangeribbon.jp Tel 03-6380-6380



TKP 渋谷カンファレンスセンター
東京都渋谷区渋谷 2-17-3 渋谷東宝ビル 2F

アクセス

● JR渋谷駅(東口)より徒歩3分 ● 東京メトロ銀座線、半蔵門線、副都心線渋谷駅(15番出口)より徒歩2分 ● 東急東横線、田園都市線渋谷駅(15番出口)より徒歩2分 ● 京王井の頭線渋谷駅(中央口)より徒歩6分

後援: 内閣府、文部科学省、厚生労働省、一般社団法人日本子ども虐待防止学会、公益財団法人SBI子ども希望財団、読売新聞社